

講義名	英語 A ( 上級 )			授業形態	
担当教員	濱田 真由美	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

#### 主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。

また、本コースでは、文法事項を整理して学び直すこと、これまで知識として蓄えてきた英文法をコミュニケーションで使える道具に転換することに主に焦点を当て、授業を進めていきます。国内外での生活で外国人と英語でコミュニケーションをとる際に必要な文法の知識を、さまざまなエクササイズを通して学んでいきます。また、リスニング力、スピーキング力、ライティング力を向上させることも目的としています。

#### 到達目標

共通教材: 基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。

個別教材:

- (1) 基本的な文法事項の復習をする。
- (2) これまで学んだ英文法の知識を会話で使えるよう転換する。
- (3) 学習した英文法を用いて、英文で自分自身について表現できるようにする。

\* 対面授業ですが、一時的に通学が困難になった学生にはZOOMでのライブ授業で対応します。

#### 提出課題

オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

共通教材: 各週の小テスト問題について授業内で解説します。  
個別教材: 毎回の授業で宿題について解説します。

#### 評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末テストの得点を25%とします。定期試験の得点を25%とします。

\* オンライン授業に切り替わり、小テストや学期末テストが実施できない場合は、課題提出に変更になる可能性があります。その場合は学期内に通知するので留意してください。

#### 履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力してください。

1. 5回休むと単位を取れなくなるので注意。
2. 出された課題をしっかりとこなすこと。
3. 授業に積極的に参加する姿勢を持つこと。

#### 教科書

.Grammar Network.	Hironi Akinoto, Mayumi Hanada	セングーラーニング株式会社	2,268	978-4-86-312348-9
-------------------	-------------------------------	---------------	-------	-------------------

#### 参考図書


#### その他

必要に応じて授業中に指示します。

#### 授業計画

1. Moodle共通教材ガイダンス / 自己紹介, Unit 1
2. Moodle共通教材Set 1/ Unit 2
3. Moodle共通教材Set 2/ Moodle Quiz Set 1 / Unit 3
4. Moodle共通教材Set 3/ Moodle Quiz Set 2 / Unit 4
5. Moodle共通教材Set 4/ Moodle Quiz Set 3 / Unit 5
6. Moodle共通教材Set 5/ Moodle Quiz Set 4 / Unit 6
7. Moodle共通教材Set 6/ Moodle Quiz Set 5 / Review
8. Moodle共通教材Set 7/ Moodle Quiz Set 6 / Unit 7
9. Moodle共通教材Set 8/ Moodle Quiz Set 7 / Unit 8
10. Moodle共通教材Set 9/ Moodle Quiz Set 8 / Unit 9
11. Moodle共通教材Set 10/ Moodle Quiz Set 9 / Unit 10
12. Moodle共通教材Set 11/ Moodle Quiz Set 10 / Unit 11
13. Moodle共通教材Set 12/ Moodle Quiz Set 11 / Unit 12
14. Moodle Quiz Set 12 / Review
15. Moodle共通教材期末テスト

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材: 予習: 次の授業で解説されるセット問題をkyukaポータル上のモデルにアクセスして解く。  
復習: 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ（小テスト）に向けてそのセット問題を復習する。（約2時間）

個別教材: 次回の授業の予習（語彙など）とテキストの復習問題（約2時間）

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき読解・能力の基礎となる。これらの能力は理学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS(Learning Management System)であるMoodleをコール教室、および（または）、授業外の自主学習に利用している。

#### 実務経験の有無及び活用


#### 備考
